

179<sup>th</sup>

定期演奏会

発売日 一般 10/22～  
[会員先行 10/20,21]

2020.11/20(金) 19:00開演 (18:00開場)

指揮 / 角田鋼亮(当団常任指揮者)

ヴァイオリン / 島田真千子(当団ソロコンサートマスター)

ヴァイオリン奏者は当初出演を予定しておりましたベンジャミン・ペイルマンより変更になりました。

■ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調Op.26

■R・シュトラウス：組曲「町人貴族」Op.60, TrV228c

180<sup>th</sup>

定期演奏会

発売日 一般 12/17～  
[会員先行 12/15,16]

2021.1/29(金) 19:00開演 (18:00開場)

指揮 / 山下一史

ピアノ / 務川慧悟

■チャイコフスキー：弦楽セレナーデ ハ長調Op.48

■モーツァルト：ピアノ協奏曲第27番 変ロ長調K.595

181<sup>th</sup>

定期演奏会

発売日 一般 1/21～  
[会員先行 1/19,20]

2021.3/6(土) 14:30開演 (13:30開場)

指揮 / 角田鋼亮(当団常任指揮者)

■シュレーカー：室内交響曲

■モーツァルト：交響曲第41番 ハ長調「ジュピター」K.551

公演内容等の変更に伴い、ソリストとしてご出演予定でしたソプラノ/輪木絵里さんにはご出演を見合わせていただくこととなりました。



角田鋼亮



山下一史



島田真千子



務川慧悟

CENTRAL  
AICHI SYMPHONY  
ORCHESTRAセントラル愛知交響楽団  
定期演奏会

三井住友海上しらかわホール

☎052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15

(地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

チケット料金/全席指定

※未就学児入場不可

A席3,600円 B席2,800円 C席2,000円  
学生席1,000円(学生席は座席指定不可  
当団事務局のみの取扱い)

チケット取扱い

- セントラル愛知交響楽団(郵送サービス有)
- しらかわホールチケットセンター ☎052-222-7117
- 愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
- チケットぴあ <http://pia.jp/> (WEB受付のみ)

※約1時間(休憩無し)の公演となります。  
 ※やむを得ない事情で公演の中止または出演者・演奏曲目・曲順等が  
 変更になる場合がございますのでご了承ください。  
 ※当団定期会員・賛助会員様は会員先行発売日のご購入・会員割引  
 価格でのご購入が可能です。[当団事務局でのみ受付]  
 ※感染者が発生した場合、ご来場のお客様の個人情報には必要に応じて  
 公的機関へ提供いたします。ご理解の程お願いいたします。

プレイベント

入場無料・先着200名

## ■第179回定期演奏会プレイベント

11/18(水) 10:30～11:20 公開講座 12:00～13:00 公開リハーサル  
会場/名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111

## ■第181回定期演奏会プレイベント

3/4(木) 10:30～11:20 公開講座 12:00～13:00 公開リハーサル  
会場/名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111

お問い合わせ

チケットの  
お申し込み

セントラル愛知交響楽団

☎052-581-3851 <http://www.caso.jp>

(10:00～17:30/土日祝休) チケットはホームページからお申し込み頂けます。



主催/一般社団法人セントラル愛知交響楽団 共催/中日新聞社  
 後援/愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・FM◎AICHI  
 協賛/三井住友海上しらかわホール(11/20・1/29)・名古屋市美術館  
 協力/カワイ名古屋(1/29)  
 助成/文化庁文化芸術振興費補助金  
 (舞台芸術創造活動活性化事業)  
 文化庁 独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人アフィニティ文化財団(3/6)

## [指揮] 角田鋼亮 (当団常任指揮者) (第179回、第181回)

Kosuke Tsunoda/Conductor

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクールでも2位入賞を果たした。2010年、第3回マラー指揮コンクールでは最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、九州交響楽団等と共演している。2015年4月より、セントラル愛知交響楽団の指揮者に就任。セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会(シベリウス&山田耕作作品)の指揮が高く評価され、「第11回名古屋ベンクラブ音楽賞」を受賞。2016年4月より大阪フィルハーモニー交響楽団の指揮者に就任。2018年1月には、大阪フィルハーモニー交響楽団第514回定期演奏会に登壇(マラー:交響曲第1番「巨人」)、若さ溢れるエネルギッシュな指揮ぶりで好評を博した。2018年4月より、新たに仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者に就任し、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。2019年4月からセントラル愛知交響楽団常任指揮者に就任。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」、「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」受賞。  
公式ホームページ: <http://kosuketsunoda.com>

## [ヴァイオリン] 島田真千子 (当団ソロコンサートマスター) (第179回)

Machiko Shimada/Violin

東京芸大附属音楽高校を経て1998年東京芸術大学を首席で卒業・安宅賞受賞。ドイツへ留学し6年間ヨーロッパで研鑽を積み、2005年デトモルト音楽大学院を最優秀で卒業、ドイツ国家演奏家資格を取得。これまでに全日本学生音楽コンクール全国大会1位、日本音楽コンクール2位、日本モーツァルト音楽コンクール1位、バガニーニ国際コンクールや、Sパッサ国際コンクールなど国内外のコンクールで入賞。愛知県芸術文化選奨文化賞、名古屋市芸術奨励賞を受賞。田中千香士、マルコ・リッチ、アイザック・スターンの各氏等に師事。ソリストとしては2000年に東京、名古屋でのリサイタルデビュー以降、様々なオーケストラと共演。ドイツやベルギーでのリサイタルやオランダ、南米チリでも出演を重ねた。1998年から毎年サイトウキネンオーケストラのメンバーとして松本での音楽祭や海外ツアーに参加。近年は各地での室内楽プロジェクトの企画や出演、マスタークラスの講師など教育活動にも携わっている。2015年Altusレーベルより「バッハの無伴奏ソナタ&パルティータ集」のCDをリリース、翌年にはバッハ無伴奏6曲全曲のリサイタルで好評を博す。2017年には2枚目となるCD「ヴィヴァルディ四季」が発売された。現在、セントラル愛知交響楽団のソロコンサートマスターおよび水戸室内管弦楽団、ヴェリタス弦楽四重奏メンバー。NPO法人イエローエージェンシーより、G.B.ガダニーニが1769年に製作した楽器を貸与されている。  
公式ホームページ <http://machikoshimada.com>

## [指揮] 山下一史 (第180回)

Kazufumi Yamashita/Conductor

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年12月からカラヤンの亡くなるまで彼のアシスタントを務めた。その後リンボリ交響楽団(スウェーデン)首席客演指揮者を務めた。日本国内では1988年NHK交響楽団を指揮してデビュー、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者を歴任。また、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者を務め、2005年秋には、新国立劇場より松村禎三「沈黙」公演が招待され、東京の音楽界にも衝撃を与えた。現在同団名誉指揮者。2006年4月からは仙台フィルハーモニー管弦楽団より指揮者として迎えられ、CD制作も行うなど積極的な活動を展開、2009年4月から2012年3月まで同団の正指揮者を務める。また、ヴェルディ歌劇「ファルスタッフ」、シューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演、水野修孝 歌劇「天守物語」を行うなど、現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。2016年4月より千葉交響楽団音楽監督に就任、「おらが街のオーケストラ」をキャッチフレーズに定期から音楽教室まで幅広く活動をしている。東京芸術大学音楽学部指揮科教授。

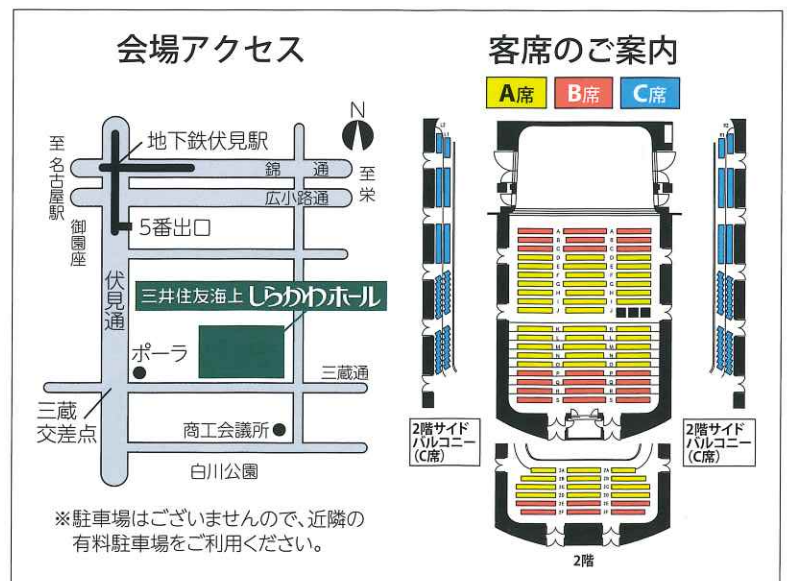
## [ピアノ] 務川慧悟 (第180回)

Keigo Mukawa/Piano

東京芸術大学1年在学中の2012年、第81回日本音楽コンクール第1位受賞を機に本格的な演奏活動を始め。2014年パリ国立高等音楽院に審査員満場一致の首席で合格し渡仏。パリ国立高等音楽院、第2課程ピアノ科、室内楽科を修了し、第3課程ピアノ科(Diplôme d'Artiste Interprète)、同音楽院フォルテピアノ科に在籍。2019年ロン・ティボー・クレスパン国際コンクールにて第2位入賞。2015年エピナル国際ピアノコンクール(フランス)第2位。2016年イル・ドゥ・フランス国際ピアノコンクール(フランス)第2位。コープ・ミュージック・アワード国際コンクール(イタリア)ピアノ部門第1位、各部門優勝者によるファイナルにて第2位、聴衆賞を受賞。2018年秋に開催された第10回浜松国際ピアノコンクールにおいて第5位を受賞。2017年シャネル・ピグマリオン・デイズのアーティストに選出され「ラヴェルピアノ作品全曲演奏」をテーマに6回のリサイタルを開催。これまでに、日本各地はもちろん、フランス、スイス、上海、ラトビア、イタリアにて演奏会を開催。また演奏のみならず「ららクラシック」などテレビラジオへの出演、「ピアノの本」やヤマハHPにてコラムを連載するなど、多方面で活動している。これまでに共演した主なオーケストラは東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、練馬交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、フランスにてロレーヌ国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団 他。フランク・ブラレイ、上田晴子、ジャン・シュレム、パトリック・コーエン、横山幸雄、青柳晋の各氏に師事。  
務川慧悟Official Site <https://keigomukawa.com/>

## セントラル愛知交響楽団 Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名の後、2009年4月一般社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。レオシュ・スワロフスキーを名誉音楽監督に、名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という布陣で新たなスタートを切る。2020年度はアソシエイトコンダクターとして高井優希を迎える。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いパートナーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ベンクラブ賞」受賞。



### 新型コロナウイルス感染症対策 ご協力をお願い

ご来場の際は、必ずマスクをご着用ください。



入場時には、手指の消毒及び体温チェックにご協力ください。



お客様の座席は、一定の距離を保って配置します。指定の座席にてご鑑賞ください。